

令和4年度 全学FD推進プログラム 第18回大学教育カンファレンスin徳島

参加費
無料

令和4年 **12月27日** (火)

9:00 ▶ 17:30 (8:30受付開始)

開催方法・開催場所

オンライン (Zoom)

一部対面会場 (地域創生・国際交流会館)

カンファレンスに関する詳しい情報はコチラ ▼

<https://uss.ait.tokushima-u.ac.jp/?id=7PJerp62>

徳島大学では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施します。

主要プログラム

午前

9:00 ▶ 9:10 開会挨拶

9:15 ▶ 10:15 □頭発表A・B・C
9件

10:30 ▶ 12:00 ワークショップ
1件

午後

13:00 ▶ 14:00 ポスター発表
8件

14:15 ▶ 15:15 □頭発表A・B・C
9件

15:30 ▶ 17:30 特別講演 コロナ禍で学生はどう学んでいたのか — 遠隔授業と対面授業の効果的な共存を見据えて —

関西大学 教育推進部教育開発支援センター

准教授 **山田 嘉徳**先生

2020年度、新型コロナウイルス感染拡大により大学授業は実施形態の変更を余儀なくされました。私はその中でプロジェクトを立ち上げ、コロナ禍での学生の学びの実態がどのようなものであったのかを調査してきました。

今回は、プロジェクト立ち上げの経緯や取組内容、成果についてご紹介するとともに、今後ますます多様化が進む大学教育において、遠隔授業と対面授業の効果的な共存について考えたいと思います。



参加申込 **申込締切** 令和4年 **12月26日** (月) 正午

以下の URL または
二次元バーコードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/UpSRnbnS06>

※メールアドレスはお間違いのないようご注意ください。また、携帯電話のアドレスは事務局からの案内メールが届かない場合がありますので、パソコンのメールアドレスをご登録ください。



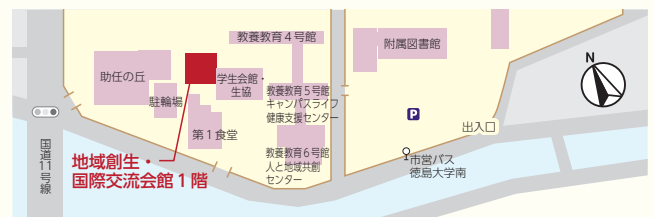
注意事項

- 参加申込フォームにおける登録完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛には、自動返信のメールは届きませんのでご注意ください。
- オンライン開催のためのパスワード等の情報については、令和4年12月23日(金)に随時ご案内予定です。
- 12月26日(月)正午以降のお申し込みについては事務局へお問い合わせください。

●会場でもご参加いただけます●

当日直接会場へお越しいただき、受付をしてください。

会場：徳島大学常三島キャンパス
地域創生・国際交流会館 1階



※駐車場が限られているため、できるだけ公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、急遽、全面オンラインに切り替える可能性があります。

お問い合わせ・連絡先

大学教育カンファレンスin徳島事務局
徳島大学学務部教育支援課教育企画係

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地
TEL 088-656-7686 E-mail kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

当日の連絡先：090-5710-6043 ※この連絡先は当日のみ有効です。

令和4年度 徳島大学全学FD推進プログラム 「第18回 大学教育カンファレンス in 徳島」プログラム

会期：令和4年12月27日(火) 開催方法・開催場所：オンライン(Zoom)、一部対面会場(地域創生・国際交流会館)

9:00~9:10 開会挨拶

<p>9:15 10:15</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 A</p> <p style="text-align: center;">対面会場から配信</p> <p>①ガチャ課金動機とゲーム利用方法から見たゲームの適切な利用に関する基礎的検討</p> <p>②大学生の深い学びにおけるメタ認知について</p> <p>③授業評価アンケートにみる評価と課題 —教養教育科目「ことばと社会」の授業改善に向けて—</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 B</p> <p>①オンライン環境を教室へ：情報通信技術活用の制約をどのように克服するか</p> <p>②入学オリエンテーションでのYoutubeを用いた防災学習について</p> <p>③徳島大学における入試広報の検討 —入試広報アンケート分析から—</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 C</p> <p>①地域企業と学生の早期関係構築を目的とした「エクスターニッシュ」の成果と今後の展望</p> <p>②鳥人間プロジェクトでのワークショップを経た活動内容の変化</p> <p>③PJWSを受けてプロジェクト活動と加太共同打上実験の成果</p>
<p>10:30 12:00</p>	<p style="background-color: #f8d7da; padding: 5px;">ワークショップ</p> <p>■オンラインでインプロ(即興演劇)を体験してみよう! -Give your partner a good time!-</p>		
<p>13:00 14:00</p>	<p style="background-color: #fff3cd; padding: 5px;">ポスター発表 対面会場に一部ポスター設置</p> <p>①SPOD-FDマップ作成までのプロセスとその成果</p> <p>②デジタル化が進む歯科診療の現状紹介と歯科補綴学実習における学習内容の検討</p> <p>③学生活動と効率的な運営とマネジメント</p> <p>④COVID-19の影響下での学生のイノベーションプラザにおける機器ライセンス取得状況の変化と今後の取り組み</p> <p>⑤3Dプリンタを活用したAI/IoT実習用ロボット教材の開発</p> <p>⑥学生プロジェクト活動における業務負担とその軽減への考察</p> <p>⑦対面授業と遠隔授業を取り入れた学生実習の実践 (対面会場から配信)</p> <p>⑧ロボコンプロジェクトにおけるワークショップ後の活動目的の見直しと変化 (対面会場から配信)</p>		
<p>14:15 15:15</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 A</p> <p style="text-align: center;">対面会場から配信</p> <p>④徳島大学における学習支援 Study Support Spaceの存在意義</p> <p>⑤高大接続科目・数学でのオンラインテストの学習効果について</p> <p>⑥科学リテラシー教育を取り入れた消費者教育授業の実践</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 B</p> <p>④多様な社会人と実践的に学ぶリベラルアーツ教育の効果検証</p> <p>⑤双方向学修をめざす「時事問題」授業の展開 ～短大生のクラス参加を積極的にさせる試み～</p> <p>⑥A Step towards Assessing Japanese Culture Proficiency of International Students in-class</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表 C</p> <p>④大学での研究シーズを活用した共創的ワークショップの展開の一考察 —光科学を中心とした高大連携の取り組みから—</p> <p>⑤阿波電鉄PJにおける対話型ワークショップを経たメンバーの自主的な活動についての経過報告</p> <p>⑥学生プロジェクト運営でプロジェクトを活発化させるために有効であった手法の結果とその考察</p>
<p>15:30 17:30</p>	<p style="background-color: #17a2b8; color: white; padding: 10px;">特別講演 対面会場にてスクリーンに投影</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; color: #17a2b8;">演題: コロナ禍で学生はどう学んでいたのか</p> <p>—遠隔授業と対面授業の効果的な共存を見据えて—</p> <p>講師: 山田 嘉徳先生 (関西大学 教育推進部教育開発支援センター 准教授)</p>		